

学校経営方針

京都市立西京極西小学校

<学校教育目標>

「自ら学び、心豊かにたくましく 高め合う子供の育成」



《目指す子供像》

*自らすすんで学習する子 [知]

- ・学習するときのルールをしつかり身に付け、意欲的に考え方学ぶ子
- ・基礎的・基本的な知識・技能を習得し活用する子
- ・好奇心や探究心をもって主体的に学習に取り組む子

*心豊かで思いやりのある子 [徳]

- ・豊かな感性を育み、生活を楽しく豊かにしようとする子
- ・あいさつを交わし、人の話をよく聞き、互いを大切に認め合う子
- ・いのち・自然・ものを大切にする子 (あとしまつ)

*たくましく自立する子 [体]

- ・いろいろな運動を通して体を鍛える子
- ・健康に気を付け、食生活に关心をもつ子
- ・安全 (あんぜん)に対する意識を高くもち行動する子

3つの「あ」—『あいさつ・あんぜん・あとしまつ』



《目指す学校像》

子供の命を守りきる学校

主体的に学び、考え方抜く子供を育てる学校

感性豊かな心を育て、一人一人の子供が大切にされる学校

健康で活力あふれる子供を育てる学校

共に学び合い高め合う子供を育てる学校

◆家庭・地域と密接に連携し、魅力ある信頼される学校◆

＜目標実現に向けた取組＞

◆子供の命を守りきる学校

- ① 命を大切にし、危機管理意識を高め、子供一人一人を徹底的に大切にする信頼される学校づくりを推進する。
- ② 校内環境や学習・行事などのあり方についての安全意識を高める。
- ③ 学校・家庭・地域が一体となった安心・安全対策の取組を推進する。
(見守り隊の活動・引き渡し訓練等)

◇主体的に学び、考え方抜く子供を育てる学校

- ① 確かな学力の育成に向け、学習課題に応じた「まとめ」「振り返り」を徹底する。
- ② 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ学習基盤の定着を図る。
- ③ 研究、学力向上チームにより子供の学力実態を把握し、「学力向上プラン」の進捗を検証しながら「(プレ) ジョイントプログラム」等を活用・考察し、授業改善に生かす。
- ④ 問題解決学習、協働的な探究活動が充実するように総合的な学習の時間をはじめとする各教科の効果的なカリキュラムマネジメントを行う。
- ⑤ 各教科における主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、子供が互いに高め合う授業構築を行う。そのために、言語活動の充実を図り、教科の特性に応じた思考力・判断力・表現力等を育成する。
- ⑥ 学校図書館の活用を通して、学習活動や読書活動の一層の充実を図る。
- ⑦ 計画的・系統的な英語教育の充実を図る。
- ⑧ LD等支援の必要な個々の子供の状況に応じて適切な指導を行う。

◇感性豊かな心を育て、一人一人の子供が大切にされる学校

- ① 「あいさつ・あんぜん・あとしまつ」を徹底し、特に「あいさつ」を励行することで、人ととのつながりを大切にして、いじめを許さない指導の徹底を図る。
<京都市いじめの防止等取組指針・学校いじめ防止基本方針><生徒指導ハンドブック>
- ② 豊かな感性を育み、友達と共に楽しい学校生活を創造するよう学級経営の実現を図る。
- ③ 家庭や地域と共に道徳教育を推進し、効果的な指導方法を工夫し充実を図る。
- ④ 一人一人の個性やよさを互いに認め合い、自尊感情を高める中で、子供相互が磨き合い高め合う学級づくりを行う。
- ⑤ 児童会活動におけるたてわり遊びやたてわり活動の充実を図る。
- ⑥ 地域に目を向け、清掃活動・福祉活動の充実を図る。

◇健康で活力あふれる子供を育てる学校

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣の確立を図る。
- ② 外遊びを奨励し、運動習慣の確立を図る。
- ③ 給食指導をはじめとした食育指導の充実を図る。(食物アレルギー対応指導)
- ④ 子供が自分の健康及び安全に対して高い意識をもち、互いに高め合うように指導する。
- ⑤ 防災教育・防災管理の充実を図る。

◆家庭・地域と密接に連携し、魅力ある信頼される学校

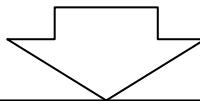
- ① 学校運営協議会を中心に据え、家庭・地域の参画を得た学校運営を進める。
- ② 「(プレ) ジョイントプログラム」や「家庭学習の手引き」を積極的に活用し、自学自習(放課後まなび教室)・家庭学習の習慣形成をめざした具体的な取組を推進する。

- ③ 地域行事への積極的な参加を促す。
- ④ 保護者の授業参観、行事参観・参加、懇談会等への積極的な参加を促す。

＜経営の基本方針＞

本校の教育は、一人一人の子供を大切にし、【知】・【徳】・【体】の調和のとれた能力の育成を目指す。個々の子供の能力を確実に伸ばすとともに子供が相互に高め合い相乗的に個々の力を発揮できるように意図して教育活動を推進していく。また、家庭や地域とともに子供の健全な育成を願い、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。その営みは、生涯学習の基礎となると考える。

を目指す学校像を実現するために、【知】・【徳】・【体】の三つの要素を意図した教育活動に積極的に取り組む。家庭・地域との連携のもと、子供に自ら進んで学ぶ主体性、感性豊かで思いやりのある心、たくましく自立して生きる態度を育成する。そして、子供が現状に満足することなく協働的に学び合い高め合っていくように教育活動をカリキュラムマネジメントしていく。また、地域の自然・文化を愛する心を培い、変化の激しい社会の中にあっても自己の能力を発揮し課題解決に挑んでいける子供の育成に努める。



西京極西小学校の経営の基本方針

- ① 学校教育目標が学校の内外に浸透し、子供の活動や生活の中に具現化するよう、全教職員の共通理解のもとに、あらゆる機会を通して実践化を図る。
- ② 教職員が目標を共有し、協働的に参画できる学校運営をめざす。そのために、子供も教職員も健康で、明るく活気に満ちた学校づくりに努める。
(風通しの良い職場環境づくり・働き方改革)
- ③ 授業を通して子供に、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる指導に努める。また、主体性を育成するとともに家庭学習の習慣化を図る。
- ④ 美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性、正義や公正さを重んじる心、他人を思いやる心等、時代を超えて変わらない価値あるものを大切にする態度を育成する。
- ⑤ 家庭・地域と密接に連携し、命を大切にし、いじめや不登校のない信頼される学校づくりを推進する。

＜京都市いじめの防止等取組指針・学校いじめ防止基本方針＞＜生徒指導ハンドブック＞

- ⑥ 教育専門家としての志を高くもち、見識と教養を高めるとともに、常に自己研鑽と校内研修、総合教育センター等の研修を通して指導技術の向上に努める。